

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		愛知淑徳大学		設置者名		学校法人 愛知淑徳大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
文学部	国文学科	100人	中一種免(国語)	昭和50年度	100人	27人	18人	16人	
			高一種免(国語)	昭和50年度			26人		
	英文学科	100人	中一種免(英語)	昭和50年度	96人	18人	13人	7人	
			高一種免(英語)	昭和50年度			18人		
	教育学科	100人	小一種免	平成19年度	108人	105人	105人	72人	
			特支一種免(知・肢・病)	平成19年度			49人		
人間情報学部	人間情報学科	200人	高一種免(情報)	平成22年度	—	—	—	—	
心理学部	心理学科	180人	高一種免(公民)	平成12年度	198人	8人	8人	0人	
健康医療科学部	スポーツ・健康医科学科	120人	中一種免(保健体育)	平成22年度	—	—	—	—	
			高一種免(保健体育)	平成22年度			—	—	
福祉貢献学部	福祉貢献学科 社会福祉専攻	70人	高一種免(福祉)	平成22年度	—	—	—	—	
	福祉貢献学科 子ども福祉専	50人	幼一種免	平成22年度			—	—	
交流文化学部	交流文化学科	340人	中一種免(社会)	平成22年度	—	—	—	—	
			中一種免(英語)	平成22年度			—	—	
			中一種免(中国語)	平成22年度			—	—	
			高一種免(地理歴史)	平成22年度			—	—	
			高一種免(公民)	平成22年度			—	—	
			高一種免(英語)	平成22年度			—	—	
			高一種免(中国語)	平成22年度			—	—	
ビジネス学部	ビジネス学科	230人	高一種免(商業)	平成16年度	263人	5人	4人	0人	
			高一種免(情報)	平成16年度			2人		
入学定員合計		1,490人	合計		765人	163人	243人	95人	
大学名		愛知淑徳大学(大学院)		設置者名		学校法人 愛知淑徳大学			
研究科・専攻等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成23年度)				
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
文学研究科	文学専攻	10人	中専免(国語)	平成20年度	2人	2人	2人	1人	
			高専免(国語)	平成20年度			2人		
教育学研究科	発達教育専攻	10人	小専免	平成22年度	5人	2人	2人	0人	
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科	グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻	30人	中専免(英語)	平成20年度	16人	5人	5人	2人	
			高専免(英語)	平成20年度			5人		

現代社会 研究科	現代社会専攻	30人	中専免(社会)	平成12年度	2人	0人	0人	0人
			高専免(地理歴史)	平成18年度			0人	
			高専免(公民)	平成12年度			0人	
			高専免(情報)	平成18年度			0人	
心理学研 究科	心理学専攻	20人	高専免(公民)	平成7年度	17人	0人	0人	0人
医療福祉 研究科	ソーシャル サービス専攻	15人	高専免(福祉)	平成18年度	3人	0人	0人	0人
文化創造 研究科	創造表現専攻	15人	中専免(国語)	平成16年度	2人	0人	0人	0人
			高専免(国語)	平成16年度			0人	
ビジネス 研究科	ビジネス専攻	20人	高専免(商業)	平成17年度	1人	0人	0人	0人
			高専免(情報)	平成17年度			0人	
入学定員合計		150人	合計		48人	9人	16人	3人

備考

・「学部・学科等の名称等」欄は、平成24年4月1日現在の名称・定員である。
 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成24年7月6日（金）

実地視察大学：愛知淑徳大学

実地視察委員：渋谷治美委員、高旗浩志委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程、教員組織等について全般的に教職課程認定基準を満たしている。
- 文学部においては、教員免許取得者数のうち教員として就職する者の割合が高く、実績を作っている一方、一部の学部学科では、教員就職者をほとんど輩出していない。
教員免許取得者数及び教員採用者数が継続して少ない場合、当該学科等における教員養成の質の確保が困難になることが予想されるため、大学全体の教員養成の質の確保の観点からその在り方を検討すること。
- 教職課程に携わる教員のFD等を通し、学校現場に求められる課題等を常に意識しながら、教職課程における教育内容、指導体制等を充実・発展させ、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教職課程は、教科に関する科目と教職に関する科目によって編成されるものであり、両科目を担当する専任教員が協力して、教職課程を運営していくことが重要である。現行においては、教職課程の運営について、教職に関する科目を担当する専任教員に大きく依拠しているように見受けられることから、今後、各学科に所属する教科に関する科目を担当する専任教員も教職課程の運営に積極的に参加するような仕組みを構築し、教職課程委員会が、全学的な組織として機能するよう努めること。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 全学的に展開されている副専攻プログラムについては、一定の履修制限が課せられているとのことだが、教員免許状を取得しようとする学生が、体系的に教職課程を履修した上で免許状を取得することができるよう、引き続き適切な履修指導を行うよう努めること。

3. 教育実習の取組状況

○地元教育委員会と連携をし、教科又は教職に関する科目として「学校教育体験」等を開設し、教職を志す学生が、早期に学校現場を体験し自らの教職への適性と志望を確認する機会が設けられている。また教育実習に際して受講資格を設定し、実習生の質の保証を図っているなど、丁寧な教育実習指導が行われている。

引き続き、教育委員会・学校との連携を進め、他大学の参考となるような教育実習指導体制の構築に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○文学部教育学科のみならず、他の学科等も教員免許状取得者及び教員就職者が一定数存在することを踏まえ、教育学科以外の学科等に所属する教職志望の学生が、学科等を越えて、教職に関する情報を共有し、横断的に指導・助言が受けられるような取り組みの推進や人的体制及び施設・設備の充実に努めること。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○地元市教育委員会との協定締結による試みは特色のある事業であり、高く評価できる。とりわけ、長久手キャンパスのコミュニティ・コラボレーションセンターが正門近くに開設されており、その充実度は他の大学のモデルとなり得る。今後、教育委員会との連携が更に強化され、地域に密着した教員養成の充実が図られることを期待する。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○理科実験室、図画工作室等において、テーブルの工夫、掲示物の工夫等がなされており、教職を志す学生が、実践的な指導力を身につけることができるよう意識した教育環境の整備がなされている。また、図書館における教職課程関係図書・雑誌についても充実している。

7. その他特記事項

○文学部教育学科の特別支援教諭一種免許状の課程について、教職課程認定基準上の必要専任教員数は充たしているが、「特別支援教育の基礎理論に関する科目」に専任教員が配置されていないため、教員配置の見直しを行うこと。